

改 修 内 容 一 覧 表				
部 位	既 存 下 地 ・ 仕 上	劣 化 状 況	下 地 処 理 ・ 改 修 工 法 ・ 使 用 材 料 ・ 留 意 事 項	記 号
屋 上	コンクリートスラブ 均しモルタル鏝押え 不燃シングル葺き（冷工法）	表層の砂落ち シングル材の欠損	アスファルトシングル葺き かぶせ工法 （シングル厚 4.0mm以上） 高圧水洗（30～50MPa） 防水層不良部撤去、段差修正 施工調査 軒先、ケラバ金物撤去・新設 軒先、ケラバ、立ち上り部：亀裂ヶ所Uカットシーリング処理 軒先、ケラバ、立ち上り部：浮き箇所、エポキシ樹脂注入 金物：ガルバリウム鋼板t=0.4 軒先糸幅150 ケラバ糸幅250 棟包み糸幅700	A 1
陸屋根部分 （立ち上り共）	均しモルタル鏝押え 塗膜防水	塗膜防水層の減耗 防水層の破断	ウレタン系塗膜防水 X－2仕様 高耐久保護塗装仕上 既存防水層撤去 ポリマーセメントモルタル塗り 施工調査	A 2
バルコニー	均しモルタル鏝押え 塗膜防水 手摺：アルミ製品（規制品）	塗膜防水層の減耗	ウレタン系塗膜防水 X－2仕様 高耐久保護塗装仕上 既存防水層撤去 ポリマーセメントモルタル塗り 施工調査	A 2
庇 部	防水モルタル仕上	モルタルの風化 モルタルの浮き	ウレタン系塗膜防水 X－2仕様 高耐久保護塗装仕上 高圧水洗（30～50MPa）ポリマーセメントモルタル塗り	A 3
外 壁	コンクリート打放し補修 吹付けタイル 一部タイル張り	経年劣化 チョーキング 汚染、微生物汚染 亀裂	可とう形改修塗料R E（上塗り 弾性シリコン樹脂塗料） 高圧水洗（30～50MPa） 亀裂0.2mm未満：シール工法 亀裂0.2mm以上1.0mm以下：ポリキ樹脂注入工法 亀裂1.0mm以上：Uカットシール充填＋樹脂モルタル仕上  建具回り、打継目地はシーリング改修：既存目地撤去後+清掃+変成シリコーン2成分形再充填 ノンブリード	B 1
笠 木	防水モルタル塗り			
軒 天	コンクリート打放し補修 E P塗装 L G S下地 けい酸カルシウム板（t=6.0）張り E P塗装	経年劣化	合成樹脂エマルジョンペイント塗り 素地B種共 高圧水洗（30～50MPa）	B 2
外巾木	モルタル鏝押え		高圧水洗（10～15MPa）	B 3
スロープ	100角タイル張り			
階段・階段室	壁：コンクリート打放し  踏面・蹴込：防水モルタル塗り 床・踊り場：防水モルタル塗り	経年劣化	可とう形改修塗料R E（上塗り 弾性シリコン樹脂塗料） 高圧水洗（30～50MPa） 亀裂0.2mm未満：シール工法 亀裂0.2mm以上1.0mm以下：ポリキ樹脂注入工法 亀裂1.0mm以上：Uカットシール充填＋樹脂モルタル仕上  建具回り、打継目地はシーリング改修：既存目地撤去後+清掃+変成シリコーン2成分形再充填 ノンブリード	B 1
スチールドア	スチール枠スチールドア	変退色 一部寂び	外部のみDP塗り（下地処理RB）	C 1
手 摺	アルミ手摺			
雨 樋	塩ビパイプVP塗装	変退色 掴み金物ステンレス	SOP塗り（下地処理RB）	D 4
ルーフドレン	鋳鉄製		改修用ドレン取付（アルミストレーナー付）	E 1
中継ドレン	鋳鉄製		改修用ドレン取付（アルミストレーナー付）	E 2
建物に付随する配管・ボックス類・換気口等			取り付いた状態で、外壁仕上と同等とする	D 3
エアコン室外機			配管に影響しない範囲で一時移動・復旧とする	

※ 特記事項

- ・仕上改修箇所及び仕上材料は、再度現地確認後、監督職員と協議の上決定すること。
- ・換気口（フード、ガラリ）の破損箇所、建物に取り付けてある脱着可能な物の脱着については、再度現地確認後、監督職員と協議の上決定すること。
- ・入居者所有の外壁への固定物は、許可を取ったうえで、撤去・移設させるが、不可能な部分は工事範囲外とすること。
- ・外壁補修工法・範囲・数量は、事前調査（目視・打診・マーキング・図面記入）し、監督職員と協議した上で、その内容を決定すること。